

左報  
第54号

# 上野東部だより

2023年3月1日  
発行  
東部地域住民自治協議会  
総務広報部会  
伊賀市緑ヶ丘東町920  
上野東部地区市民センター内  
TEL・FAX 24-3999



南京玉すだれ



人権パネル展



第三部「今どきのおばあちゃん」



第一部人権落語  
「いじめられっ子の僕が落語家になった訳」

## 「いじめられっ子の僕が 落語家になった訳」



林家染太さんによる人権落語講演会

令和4年12月6日(火)午後2時～3時30分、上野東部地区市民センターに於いて、人権啓発部会と東部地区草の根運動推進会議主催による人権落語講演会が開催されました。参加者は30名でした。

東部地域住民自治協議会会長の挨拶の後、テレビ、ラジオで活躍中の林家染太師匠の人権落語、第一部は「いじめられっ子の僕が落語家になった訳」と題して「命の大切さ」「コミュニケーションを上手に取る方法」を熱く語られました。

第二部は、出囃子となる中高座に上がり、「今どきのおばあちゃん」と題してディサービスの様子を落語で、高齢者の人格を尊重していくと笑いの中で話されました。最後に、南京玉すだれの披露がありました。「笑う門には福来る」のサイン入り色紙を7名分頂き、盛況の中終了しました。

同時に人権啓発パネル展「伊賀市民意識調査からみえてくるもの」が開催されました。

(東部地域住民自治協議会のホームページより抜粋)

# 簡単な防災用具のつくり方、市販防災用具の紹介

昨年、令和4年10月15日(土)～16日(日)に東部地域住民自治協議会自主防災訓練が実施されました。訓練の中で災害が発生した時、避難所運営が少しでもスムーズに出来るように、簡単な防災用具のつくり方、また市販品の紹介がありました。前回発行の東部だより(第53号・令和4年12月1日発行)で一部掲載しましたが、その他多くの役につつものがありましたので紹介いたします。



## 1. 睡眠時の市販エアーマット

体育館での睡眠となるため、市販エアーマットを使用し休眠を快適に取ることが必要です。

紹介されたのはポンプ付きで、1,000円前後です。

また、下にダンボールを敷いてのエアーマットは寒さよけには、効果的です。

## 2. テントとサマーベッドを活用した睡眠場所

テントで風よけ、また寝床も堅さ対策としてサマーベッドを利用して睡眠をとることもおすすめです。

あるものをうまく組み合わせて、避難時の休息をとることは大切です。

## 3. 発電機始動チェックと自動車からの燃料補給作業のトライ

東部地区市民センターに常備している発電機(ポンベ式3台、ガソリン式1台)の動作チェック及び操作方法を学びました。

非常事態を想定し、車からガソリン燃料の補給をホース1本で試みましたが、できませんでした。安全面から今の車はできないようです。

## 4. 空き缶コンロの作成とお湯沸かし

アルミ缶3個で五徳台とコンロを作り、次にアルミホイルとティッシュペーパーで火元となる芯と芯立てを作ります。

そして、サラダオイルを燃料として即席コンロが出来上がりです。何もない避難場所ではこれが火力にもなり、明かりにもなります。

## 5. 車中泊車両展示

3台の寝ごごちを比較。

夏場はドアの窓ガラスにはる虫よけネットが市販されています。

## 6. ダンボールで簡易トイレ作成

ダンボールで台と便座の製作します。台の作成はとにかく頑丈にすることが大切です。箱のフタを内側に織り込み固定します。その上に座っても安定していることが肝要です。

次に便器蓋と便座をつなぎ合わせます。

そこにビニール袋を敷き、凝固剤を入れてトイレとして使用します。



## 7.ふろしきリュック

昔からある風呂敷で風呂敷1枚からリュックを作る方法と風呂敷2枚から作る方法があります。子供、大人の体格にそれぞれ合わせられるため、非常時の万能バッグとなります。

ネットにも公開されていますので、参考にしてください。

## 8.新聞でスリッパ作成 (タマゴのガラでがれき体験)

新聞紙2枚で簡易スリッパ1足を作成しました。実際に、裸足と簡易スリッパ着用で卵のガラの上を歩いてみました。

裸足では痛くて歩けませんが、簡易スリッパを履くと歩けます。安全のために簡易スリッパを準備しておくことが大切です。

## 9.単三電池を単一電池としてつかう

- ①単三電池の底に1円玉7枚でかさ上げをする。
- ②単三電池にダンボールを巻いて、単一電池の太さと同じにする。

また、市販のケースもあるようです。

## 10.夜間対策の照明

- A.ツナ缶(油漬け)に穴をあけ、ティッシュペーパーを差し込み、火をつける。
  - B.バターを切り取り、ティッシュペーパーを丸めてバターに差し込み、火をつける。
  - C.懐中電灯にペットボトルを乗せると、ランタンに早変わりします。
- Aのツナ缶は明かりが長持ちして、あとは暖かくなったり食べられるため、オススメです。

## 11.指型ハミガキシート

非常時は水もなく歯ブラシもない状況です。そんな時、指に差し込んで歯磨きができる優れものシートがあります。

指型歯磨きシートです。口腔ケアは健康に欠かせないものです。

## 12.ネットで防災用具の学習

ネットには色々な防災用具が紹介されています。普段から情報を得ておいてください。

今回の訓練で、多くの防災用具のつくり方、市販品の紹介をしていただきました社会福祉協議会、消防団、防災防犯交通安全部会の皆さん、村田部会長さんありがとうございました。

### ◆今後の防災訓練の課題と取り組み

- ①防災訓練で身につけた知識、技能等を各自治会へ拡大していく必要がある。
- ②その為に各自治会単位で、防災リーダー(現在の役員以外で)育成していく必要がある。
- ③各自治会単位又は2~3自治会単位で防災リーダーが中心となって、訓練を開催していくことが重要である。  
と参加したメンバーからの意見がでした。

〈取材：山本 史規〉

街角の話題

# 祖父のコレクションを展示 ギャラリー山苑

館長 浜辺尚士様 (上野赤坂町)

祖父・浜辺喜代治氏が昭和22年山苑雅廊として開廊。長年収集した仮面、土鈴、郷土玩具、焼き物、笊など、国内や中国、外国のものを所狭しと展示してあります。



## 〔浜辺喜代治氏 略歴〕

大正3年(1914)上野赤坂町に生まれる。昭和22年自宅の一角にギャラリー「山苑雅廊」を開廊。昭和25年元旦から「寅の春展」で寅の郷土玩具や、浜辺萬吉氏、元永定正氏、荒木寛氏等の絵画を展示した。新春の恒例行事「春展」の始まりである。各種写真展において入選を重ね、審査員を歴任する。家業の古喜荒物店から昭和31年ごろにハマベフォートに転業する。昭和36年出版の上野市史編纂において掲載写真のすべてを担当をする。昭和37年上野天神祭りの供奉面の写真撮影をきっかけに能面調査がライワークとなった。平成17年(2007)満91歳で死去。



〈取材：安場 豊〉

# 部会活動だより

東部地域住民自治協議会

## 教育文化スポーツ部会

## 秋を満喫【ウォーキング】開催

令和4年11月3日(祝)、午前10時から三重県上野森林公園において教育文化スポーツ部会主催のウォーキングに38名が参加しました。体力増進と親睦を目的として、爽やかな秋晴れのもと開催しました。

天候に恵まれ参加した人たちは、約1時間を思い思いに園内を散策しました。ひさしぶりに会った人の会話も弾み、公園の可憐なリンドウ、ウメバチソウやセンブリの群生に心を癒されながら楽しくウォーキングしました。



(東部地域住民自治協議会のホームページより抜粋)

## 環境保全部会

### 環境学習会

～大阪広域施設組合・舞洲工場見学



小春日和の令和4年11月8日(火)午前8時、参加者29人を乗せたバスは、一路大阪市此花区の舞洲工場に向け出発しました。

着いてまず「何これっ!」と驚くのが、外観がまるでテーマパークのような派手なデザインです。とてもごみ処理施設には見えません。「自然との調和」をコンセプトとするオーストリアの芸術家フンデルトヴァッサー氏の作品です。



3グループに分かれ90分の見学です。舞洲では一日600台の収集車両が800トンのごみを運びます。

焼却炉は900～1000℃で燃やし、その熱エネルギーを利用し水蒸気を作りタービンを回し発電機で電気を作ります。工場内の電気をまかない、あまたの電気は売ってまさに「火力発電所」です。排ガス、排水ともきれいに処理されて放出、放流されています。

生活する以上「ゴミ」とは縁が切れませんが、ごみの量や処理を見て、ひとりひとりが少しでもごみを減らさなければと強く感じました。3年ぶりの環境学習会にたくさんご参加をいただき、楽しい時間を過ごせましたこと、本当にありがとうございました。

(東部地域住民自治協議会のホームページより抜粋)

## 健康福祉部会

## 地域食堂パプリカ(令和4年度)

本年度もご参加いただきました皆様方、  
ご支援いただきました各団体様有難うございました。

- ①JAいがふるさと 様
- ②株)サンショク 様
- ③株)タマルタフーズ 様
- ④伊藤精肉店 様
- ⑤焼肉ステージ昌苑 様
- ⑥株)金澤兼六製菓 三重工場 様
- ⑦伊賀市社会福祉協議会 様



# 楽しく、元気に健健康ウォーク

上野南部地区



## 伊賀鉄道跨線橋(桑町)

茅町駅と桑町駅の間にあるレンガづくりの橋、大正11年頃建造。



## 山渓地蔵尊(久米町)

頭上の煩いをなおすと言われ信仰されています。



## 愛宕神社(愛宕町)

本町通りから中之立町通りにはいると遠く正面に紅い鳥居とこんもりした愛宕神社の森が見えます。



## 旅館薰楽荘(桑町)

平成23年に本館と塀及び門並びに蔵が国の登録有形文化財に指定された旅館です。



## 恵美須神社(恵美須町)

毎年初戎大祭が1月19日(宵宮祭)～20日(本宮祭)に行われ多くの人で賑わっています。



## 蓑虫庵(西日南町)

芭蕉の門人・服部土芳の草庵、芭蕉の句「みの虫の音を聞きにこよ草の庵」にちなんで名付けられました。

東部地域住民自治協議会健康福祉部会の事業として「健康ウォーク」が風もなく秋晴れに恵まれた令和4年11月7日(月)に実施されました。

新型コロナ感染予防のため、定員30名として募集したところ25名の応募があり、健康福祉部会員の11名とあわせて36名を3班に分け、いがうえの語り部の会3名の方の丁寧な説明を聞きながら、南部地区の神社、寺院、地蔵、史跡をめぐりました。

南部地区市民センターでの開会式後伊賀鉄道跨線橋～山渓地蔵尊～桑町神社～いとう旅館～旅館薰楽荘～愛宕神社～蓑虫庵～恵美須神社～蓮池寺～南部地区市民センターまでのコースを約3時間かけて歩きました。

愛宕神社の境内には、愛宕不動明王、阿多古忍之社(あたごしのびのやしろ)、清春稻荷神社、末廣稻荷神社、八幡神社、金毘羅神社が祀られており、大福寺無名庵址などがあることがわかりました。普段車や徒歩で毎日ほど見ている風景や史跡でも、立ち止まってその歴史や生い立ち等説明を聞くとより身近な存在になりました。

今回参加できなかった方は、南部地区市民センターに案内用の冊子(有料)がありますので、それを片手に巡られてはいかがでしょうか。

いがうえの語り部様、南部地区の役員様、参加者の皆様のおかげで無事終えることができました。ありがとうございました。

〈取材：縄手 稔〉

昨年は、世界情勢の影響で物価が上昇し、食品の値上げだけではなく、光熱費を始め様々な生活費の出費が膨らみつつありました。一つの商品の値上げが数円から数十円だったとしても、積み重なることで家計に負担がかかってしまうので、少しでも安い商品を探したり、家庭の固定費を見直したりと対応に奔走した一年となりました。

今年も物価高騰が続くと予想され、各家庭の収入が急に増えるわけではないので、官民一体となり改善される事を望んでいます。少しでも明るい話題が増えて、子育てがしやすく、活気ある世の中になることを願っています。一年間ありがとうございました。(寺岡美穂)

編集  
後記